

①

1 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

「何のために歴史を学ぶか」。申したいことが二つあります。

まず一つめ、私にはこんな経験があります。私は1931年に生まれましたが、1931年といういわゆる満州事変が始まった年です。そして、日中戦争→太平洋戦争と続いていきます。そうすると、戦争のない時代は知らないです。戦争のない時代を知らない、戦争がなかったということ自体がわからない。あるのがあたりまえ、こういう感じなのです。

岩波書店で出している『世界』という総合雑誌があります。その『世界』が、1955年ですから敗戦後10年たったときに、読者から「私の8月15日」という投稿を募って特集を組んだことがあります。そして10篇が選ばれて、それが1955年の8月号に載せられた。私は読んで、そのなかの一篇に非常にびっくりしたと同時に「アッ、これだ!」と思ったことがあります。

それはどういうことかという、北山みねさんの「人間の魂は滅びない」と題された一篇のなかに、45年8月15日に臨んだとき、くやしいというよりも複雑な気持ちがあった、「それは戦争も「やめられる」ものであったかという発見であった」と、こういう一句があったのです。「ああ、そうだな、あれだったんだ」と思いました。戦争というのは永久に続くものだと思っていたわけですから、愚かなことですね。

歴史を知らない、いまあることは絶対です。現在ですと、この十五年戦争、と一応ここでは呼んでおきますが、その戦争があり、その前に大正デモクラシーと呼ばれる時代があった。これはあなた方は知っている。当時の私たちは、その時代にごく近かったのに、大正デモクラシーなんてことは一言も知らない。「大正デモクラシー」という意義づけ自体が第二次大戦後にできています。吉野作造といふ人のことも教えられない。

では、当時、いまはどういう時代だったと教えられたのか。日清戦争、日露戦争ですよ。歴史を学べば学ぶほど戦争となってしまうのです。そんななかに生きていたのです。過去を知らない、現在が絶対化されるのです。

その意味で、過去を知ることが現在を相対化する。現在というのは、私がよく使う言葉ですが、秩序としてあるのです。秩序というとなぐ法を思い浮かべます。が、秩序をつくっているのは法だけではいけません。法は外を規制するのだけれども、道徳はさらに内面を規制する。もっとソフトだけれども、もっと規制力をもつのは、カンシュウでしょう。

「ぼくはどっちでもいいんだけど、まあ、結婚するなら大安の日にしよう」とか、「ことさら友引の日になくても」なんてことを思ったりする。そしてそれらの法、道徳、カンシュウがひとつの権威として自分の内面にまで入っている。いましか知らなければ、これはア的なもの、動かせないものと思うわけですね。

しかし、歴史を知れば、「アッ、あんな時代もあったんだ、そしていまこうなっているんだ。じゃ、いまも絶対ではありえないだろう」と、過去の持つ呪縛力から自分をちよつとは楽にしてくれました。

そして、もうひとつは、そういう現在を生きている自分をやはり相対化してくれるのだと私は思います。よく歴史家は、ア的な超越的な立場から過去を全部見渡し過去を、サイダンする存在と思われるります。しかしとてもそんな存在じゃありません。そんなふうには振る舞うのだけれど、とてもそんな存在ではないの。

私も歴史家の一人ということになっていますが、だいいち、自分は現在というものに、拘束されている人間です。誰もが歴史的条件にしばられている存在です。人びとは誰も、それぞれの喜び、ためらい、苦しみをもっている。これは自分だけだと思ったりする。でもそれは、あるいは時代の特性かもしれない。そして誰もそこから自由に羽ばたけるものではないのです。そういう人間として生きている、これは被拘

2 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

つい先日、ある地方都市から相談のメールが来た。相談者は35歳の男性。妻がいて、3歳、4歳、6歳の子どもを持つ3児の父親でもある。その「一家の大黒柱」が「収入が5万円あるか、ないかで、今月は、風邪で、休んだため、ゼロの可能性があり、生活困難な状況です」という。通常の収入が5万円、風邪で休んだらゼロになるとするのは、ジンジョウではない。普通の仕事ではないのか、それともまともに仕事をしていないのだろうか。

聞いてみたところ、彼はちゃんと働いていて、月々の収入は17万～20万円程度ある。しかし、派遣社員で寮に住んでいるため、寮費が7万円、ガス代・電気代が使用量と無関係に各2万円、その他家具のレンタル代や社会保険料などで毎月約15万円が引かれるのだという。男性のゼロから5万円というのは、収入からそれらを引かれた後の手取りなのだった。上の子は、今度の4月には小学校に入学する。メールには「8000円の小学校指定のカバンも買えません、情けない父親です」とあった。私は、1995年から野宿者（いわゆる「ホームレス」）の支援活動に携わってきて、2001年からは、野宿者に限定せず、貧困状態に追い込まれた人たちの生活相談を受け付けている。ちょっと前まで、相談に来る人たちは、労働市場から排除されてしまったり失業者が大半だった。かつての日雇い労働者や、DV（ドメスティック・バイオレンス）を受けて着の着のままで逃げたシングルマザーなどと、働くところではなく、まず命を支えなければならない人たちが大多数だった。

しかし近年では、今現在就労しているにもかかわらず生活していけない、という人たちの相談が増えてきた。そして、中高年単身男性や母子世帯が大半だった世帯構成も、若年単身世帯・高齢世帯・一般世帯と多様化してきた。もはや「働いているのに食べていけない」という相談は珍しくないし、貸貸アパートに住んでいる人たちの間にも貧困は広く深く浸透している。

野宿者だけでなく、DV被害者や「ネットカフェ難民」など住所不定状態にある人たちを広く含む広義のホームレス問題に関わっているうちに、気がついたら社会全体が、地盤沈下していた。ホームレス問題を通じて考えてきたことや培ってきたノウハウががえてはまってしまう人たちが、就労して自分の稼ぎで暮らしているものとかつては考えられていた若年世帯や一般世帯にも増えてきてしまった――私の感覚から言うと、そのようになる。

以前に、非正規労働者などを中心とする労働組合の相談風景を見学させてもらったことがあるが、相談の内容や生活状況は、私たちのところに相談に来る人たちとほとんど変わらなかった。もう、「働いている人は労働相談、働けない人が生活相談」という区別は成り立たなくなったのだと感じた。

それでも、まだ「正社員として働いている」という人は、相談に来たことがない。しかし、いづれ遠からずそのような相談も出てくるだろう。年収300万円程度で一家を支えながら長時間労働をこなす正社員など、もう珍しくないからだ。相談に来ないのは、単に「正社員で働いている自分が、食べられずに生活相談をする」という行為が、本人の中で選択肢として想像できないからにすぎない。

近年、「ワーキング・プア」という言葉が日本社会でも知られるようになった。その言葉は、働いてはいるが、働ける状態にあるにもかかわらず、憲法25条で保障されている最低生活費（生活保護基準）以下の収入しか得られない人たちのことを指す。最低生活費は、たとえば東京23区に住む20代、30代の単身世帯であれば、月額13万7400円（生活扶助8万3700円＋住宅扶助上限5万3700円）。夫33歳、妻29歳、子4歳の一般標準世帯なら、22万9980円（生活扶助16万180円＋住宅扶助上限6万9800円）である。さまざまな税額控除も勘案すれば、大都市圏で年収300万円を切る一般標準世帯であれば、ワーキ

③

②

束者ということができますね。

しかし同時に、そのなかで自分は日々、何かを考えたり願ったりして、否応なく行動している。その意味では、自分を拘束する条件としての現在や歴史に働きかけている。つまり実践者ということになる。なかには自分は何もしないという人があるかもしれないけれど、しかし、その人も、しないということにおいて、現在なり歴史なりに働きかけているのね。

そんな自分がいて、その自分が歴史をみるということとは、そこにもうひとつの自分加わることになる。観察者の立場です。自分自身を被拘束者、実践者、そして観察者として過去をみて、歴史のなかの自分の位置をはかることができるのではないだろうか、というのが私の考えです。そのなかで自分のもっているいろいろな悩みとか喜びとか問題点、それを軸にして考えてゆく姿勢が出てくる。

このごろ「くだわる」という言葉がよく使われます。「くだわる」という言葉は以前なら悪い意味だったのですね。小さなことにも気持ちがひっかかるというほどの意味だったのです。いまはそれが、「私はこの言葉にくだりますよ」というふうに、プラスの意味になってきた。みんなそれぞれ自分に立ち返って考えなければならないという時代になってきた。それができような時代になってきている。一人一人のそういうところから問題を立ててゆく。そして歴史をみるということをしてゆく。これが、歴史を学ぶことの効用といえはいいものではないかと思います。

（鹿野政直『歴史を学ぶこと』、一部改変）

問1 下線部a～eにおいて、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 下線部A「思ったこと」とは何か。「～と思っていたこと。」につながる形で、10字以内で答えよ。

問3 下線部B「過去を知らない、現在が絶対化される」とは具体的にどういうことか。本文中の事例から35字以内で答えよ。

問4 空欄アにあてはまる語句を、文中から抜き出して答えよ。

問5 下線部C「歴史を学ぶことの効用」とは何か。文章全体を通じて筆者の主張を「歴史を学ぶことで～」で始まり「～ことができる。」につながる形で、25字以内で答えよ。

ング・プアの状態にあると言っている。前述の5人世帯は、明らかに最低生活費を割り込んでいた。

日本社会には今、このような状態で暮らす人々が増えている、と想像される。「想像される」としか言えないのは、政府が調査しないからだ。貧困の広がりを直視せず、ただ「日本の貧困はまだたいしたことない」と薄弱的なコンキョに基づいて繰り返すだけなのが、2008年現在における日本政府の姿である。

その政府見解は、「日本の貧困は、世界の貧困に比べたら、まだまだ騒ぐに値しない」という世間一般の素朴な考え方に後押しされている。国連が定める絶対的貧困線である1日1ドルを超える収入があれば、生活が苦しくても貧困とは言わないと考える人は、少なくないかもしれない。しかし、貧困の実態は所得のみから理解されるべきものではないし、また貧困の指標は一つではない。日本の貧困者が1日1ドルを超える収入があったとして、それは「日本に貧困がない」ことを意味するものではない。世界の貧困への関心の強さを、国内の貧困を見えないままに止める隠れ蓑に使わせてはならない。

（湯浅誠「反貧困」）

問1 下線部a～eにおいて、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 下線部A「一家の大黒柱」の文中の意味として正しいものを選び

- ① 一家の支えとなっている人
- ② 家族が共同して、一家を支え合うこと
- ③ 一つの家を支え、その家の中心にある特に太い柱
- ④ その家の思想の中心となっている考え方

問3 下線部B「働いている人は労働相談、働けない人が生活相談」で筆者の考える相談内容の違いについて説明せよ。

問4 「ワーキング・プア」の状態にある人とは、どのような状況のことか。文中の言葉を用いて説明せよ。

問5 下線部C「隠れ蓑」が示す意味と同じ意味で用いられる文章を作り、記述せよ。

④

5

3 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

大抵の動物は手足などの器官を失うと再生できないが、一部の植物は、枝や根から体全体を再生することができる。近年の研究で、その驚異の再生能力の秘密がわかってきた。これまで不可能と考えられてきた技術への試行錯誤も始まっている。

植物の再生能力を使った技術として、古くから知られているのが、接ぎ木だ。土台となる「台木」に、増やしたい「穂木」を継ぎ足す。

例えば、病気や塩害土壌に強い株を台木にして、味や収量がいい株を穂木にすると、両方の長所をいいとこ取りした株ができる。日本の春の代名詞ともいえるソメイヨシノや、欧州のワイン用ブドウは多くが接ぎ木だ。新しい品種を開発する期間の短縮やコストの削減につながり、野菜の接ぎ木苗も数多く出回るようになった。

この接ぎ木で、常識を覆す発見があった。接ぎ合わせできるのはあくまで近縁の種に限られると考えられてきたが、名古屋大などの研究チームは、ナス科タバコ属の植物では「科」の壁を越えて接ぎ合わせられることを見つけた。この成果は2020年8月に米科学誌サイエンスに掲載された。

チームの野田口理孝・名大准教授（植物科学）によると、ペンサミアナタバコなど7種のタバコ属の植物を穂木にすると、42科84種のうち38科73種の台木に接ぎ木できた。

接着部分では、細胞壁の形成に関与することが示唆される酵素「セルラーゼ」が多くなっていった。この酵素が多いと、細胞壁の主要な成分であるセルロースを溶かして癒合しやすくしている可能性が明らかになった。タバコ属以外の植物同士を接ぎ木しても、この酵素が多く出るようにすると、成功率が上がったという。

野田口さんはさらに、キク（キク科キク属）を台木にし、タバコ属を挟んで、トマト（ナス科ナス属）を接ぎ合わせることに成功。実際にトマトを実らせることもできた。ただ、水が通る道管や養分が通る篩管のつながり合わせが、近縁種同士に比べて不十分だった。

キク属は塩害や乾燥などの環境ストレスに強い。不十分な点を改良できれば、従来の品種改良の枠を超えた新しい品種を開発できる可能性があるという。

野田口さんは「タバコ属は、接ぎ木すればすぐにくっつき、異なる科でも成功しやすいと考えられる。穂木の生育が十分になるような癒合手法の開発を目指したい」と話した。

そもそも、植物はなぜ高い再生能力を持つのだろうか。

一つは、植物と動物の体のでき方の違いにある。多くの動物は、生まれてくるときに身体を構成する器官のほとんどが完成している。だが植物は、茎や根の先端に細胞分裂が活発な「成長点」があり、さまざまな組織に分化できる多能性の幹細胞が常に生まれている。成長した植物でも新しい器官を作り出せるのはこのためだ。

植物は、自らが傷つくと、傷口にある細胞から成長点が、速やかに作られ、葉や茎、根などができる。ある実験では、セイヨウタンポポの根の傷口から葉が再生し、およそ1か月後には葉が大きく成長した。

こうしたプログラムが働く仕組みには、遺伝子が深く関わっている。モデル植物となるシロイヌナズナなどを使った研究で、どんな遺伝子なのか近年特定されつつある。

理化学研究所環境資源科学センターの岩瀬哲・上級研究員らの研究によると、植物に傷ができると「WIND1」と呼ばれる遺伝子が現れる。これがスイッチのように働き、「カルス」という細胞分裂が盛んな、カタマリが作られる。

その後、成長点だけにある「ESR1」遺伝子が現れ、カルス内で作られた幹細胞を使って茎や葉が再生されることが明らかになった。

4 次の(1)～(10)までの各設問にそれぞれ①～④の番号で答えよ。

- (1) 原子番号8の元素は である。
① 炭素 ② 塩素 ③ 酸素 ④ ヒ素
- (2) 小説「金閣寺」で1956年度の読売文学賞を受賞した小説家は である。
① 夏目漱石 ② 赤川次郎 ③ 太宰治 ④ 三島由紀夫
- (3) N A T Oとは、 条約機構の略称である。
① 北太平洋 ② 南太平洋 ③ 北大西洋 ④ 南大西洋
- (4) SDGsで掲げられている2030年までに達成すべき目標の数は である。
① 15 ② 17 ③ 19 ④ 20
- (5) いわゆるバルト三国とは、エストニア、ラトビア、 を指す。
① リトアニア ② エリトリア ③ ベラルーシ ④ ウクライナ
- (6) 「李下に冠を正さず」の意味として正しいものは である。
① 人から疑われるような紛らわしい行動は避けるべきということ
② 本当に実力のある人は外見を取り繕ったりしないということ
③ 人からの忠告はなかなか素直に聞き入れられないということ
④ 物事がうまく進まないときは無理をしないほうが良いということ
- (7) 日本国憲法が掲げた3つの原則は である。
① 国民主権、自由主義、基本的人権の象徴 ② 象徴天皇、平和主義、基本的人権の尊重
③ 国民主権、平和主義、基本的人権の尊重 ④ 象徴天皇、国民主権、自由主義
- (8) いわゆるB R I C Sとは、ブラジル、ロシア、インド、中国、 を指す。
① アルゼンチン ② 南アフリカ ③ オーストラリア ④ 韓国
- (9) フランスとスペインの間にある山脈は である。
① ヒマラヤ山脈 ② アルプス山脈 ③ ピレネー山脈 ④ ロッキー山脈
- (10) 御成敗式目が制定された当時の鎌倉幕府の執権は、北条 である。
① 時政 ② 義時 ③ 泰時 ④ 時頼

7

6

一方、接ぎ木にも関わる、切り口をつなげる働きを果たすのが「WOX13」遺伝子だ。細胞壁の分解を促す働きがあり、接着をスムーズにしていると考えられる。

21年にこの遺伝子の機能を見つけた、奈良先端科学技術大学院大の池内桃子特任准教授は「植物の器官再生の一端は見えてきたが、品種による再生能力の違いや、切り口から葉が出るのか、根が出るのかをどうコントロールしているかなど、未解明の部分が残されている」と解説する。

日本はシロイヌナズナを使った研究が伝統的に盛んで、世界に存在感を示してきた分野でもある。池内さんは「モデル植物で植物再生の全体像を明らかにすることで、農業への応用が可能になる。再生が起きづらい品種で、組織、パイオウでの再生能力を向上させられれば、新しい品種改良が可能になる」と強調した。

（毎日新聞 2022/06/07）

問1 下線部a～eにおいて、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 下線部A「一部の植物は、枝や根から体全体を再生することができる」理由を説明せよ。

問3 下線部B「接ぎ木」に関して、本文で説明されている
① 従来の常識
② 新たな発見
を簡潔に説明せよ。

問4 下線部C「キク（キク科キク属）を台木に」する理由を説明せよ。

問5 下線部D「こうしたプログラムが働く仕組み」に関係している2つの遺伝子を挙げよ。

5 次の(1)、(2)の問題に答えよ。

- (1) ある正の数を二乗して5をひくべきところ、誤って二倍して5をひいたため、正しい答えより35小さくなった。ある数を求めよ。
- (2) 二次方程式 $x^2 - 5x + 4 = 0$ を解け。

8

ライフスタイル学科・こどもの生活学科

基礎学力テスト

- 1 問1 a b c d e
- 問2
- 問3
- 問4
- 問5
- 2 問1 a b c d e 問2
- 問3
- 問4
- 問5
- 3 問1 a す b やか c d す e
- 問2
- ①従来の常識
- 問3
- ②新たな発見
-
- 問4
- 問5
- 4 (1) (2) (3) (4) (5)
- (6) (7) (8) (9) (10)
- 5 (1)
- (2)